

もくじ

えび人 vol.11	02	情報	09
今号の表紙	03	市民のひろば	10
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
平成30年度海老名 文化スポーツ賞	06	相談	13
市政発展の功労者を表彰	08	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員  
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期  
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ  
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ  
 2018対象

市外局番…省略しているものはすべて「046」です  
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬  
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

筆の特徴を活かした表現ができるように頑張りました。  
 東柏ヶ谷小学校 今井莉子さん(11歳)



写真

タイトル：田園風景  
 撮影場所：勝瀬  
 撮影者：中新田在住  
 森田正廣さん



編集雑記

シリーズ企画「えび人」は、取材力・文章力はもちろん、象徴的な景色のロケハン、その人の「いい」、表情を捉えるなど多くのスキルが求められ、私にとってはチャレンジでした。気付けば10回を超え、嬉しい感想をいただくことも。少しは定着してきたのかなあとと思うと、より一層精励するところです。今後も、皆さんと共有できる発見や海老名の宝を紹介していければと思います。(あ)



海老名の酪農を守り、未来へ

「昔は海老名に100軒くらいの酪農家があったんだよ」と話す池田さん。父の代に始めた「池田牧場」は、現在、市内で営む酪農家3軒のうちの1軒です。約60年前に父から乳牛9頭を受け継ぎ、30頭あまりの規模まで拡大。中新田にある乳業会社に1日約800詰の牛乳を出荷しています。

市街地で酪農を行う厳しさがある中、酪農への理解を深めてもらいたいという思いから、小学生から高校生には体験学習の門戸を積極的に開き、他県の農業高校の生徒も迎え入れています。「牛乳は直売できないから、他の形で地域に貢献したい」。その思いはふれあい農業まつり(旧産業まつり)で畜産組合として30年近く続けている「豚汁の振る舞い」に表れています。「新鮮でおいしい牛乳を届けたい」という池田さんの強い思いとともに、海老名の希少な酪農は、アメリカで酪農経験を積んだ息子の浩司さんへと引き継がれています。



酪農を引き継いだ息子の浩司さん夫婦と



酪農の傍ら、近所の畑で野菜栽培。地域の人には自宅前で直売も

今月のえび人

池田牧場経営  
 池田靖英さん  
 (国分南在住・78歳)

市内の酪農・養鶏農家が加入する海老名市畜産組合長を長年務め、ことし次世代へ引き継いだ。国分南四丁目元自治会長。「地域の人と仲良く」がモットー。